

の方をどう支えるか等悩まれたそうです。「ケアマネジャーの関わり方の工夫と同時に、この方の問題点を整理すること」「この方は寂しい思いをそのような態度でしかぶつけられないのではないか、その気持ちを理解する事も大切」、「介護保険で出来ることできないことをきっちり伝えることも大切」などの意見が出されました。また、大変なケースの場合ケアマネジャーが一人で抱え込まず周りに相談し、頑張り過ぎないことも大切だと、中堅ケアマネジャーからアドバイスもありました。

全体の感想としては「新人ケアマネジャーさんも大変なケースを担当し、頑張っていることが伝わり、自分も初心に帰って頑張ろうと思った」「周りが優しく見守って下さるので有難かった」という声が出されていました。一人で悩むより、周囲に支えられ、みんなに相談しながら共に学び高めあうことを確信した研修でした。

日常生活圏域

サービス事業所の取り組み

認知症に関する病気や薬のことを学び、 介護にいかすぞ！

おおみや葵の郷理学療法士 小室 真理

H25年度最初の学習会では、昨年度に引き続き皆様の関心が高かった認知症について改めて初心に立ち返り、認知症という病気への基礎知識や特徴、また投薬についての専門的な学習を行いました。

認知症の基礎知識に関しては中央病院にお勤めで老人看護専門看護師の長谷川美智子さんを、投薬に関してはみやこ薬局の薬剤師の渡邊祥子さんをお招きして行いました。学習会は平日の夜(業務終了後!)にも関わらず100名を越える参加の応募があり、皆さんの関心の高さや熱意が感じられました。

長谷川さんの講義では看護師の医療の視点からみた意見や対応の方法が、介護分野で働く方々にはとても新鮮であったようで、今までうまく行かなかった利用者さんへの対応にも活路を見出すことができた方も居たようです。

長谷川さんも実際の事例を通しての講義だったため色々な職種の集っている学習会のなかでも皆さんイメージが沸きやすく、当日の質問の様子や感想文の中からも、日ごろの業務に参考になったと感じられている方が多かった様子です。

認知症の方が飲まれている薬に関して講義をしてくださった渡邊さんは、認知症の方が飲まれている薬の効能だけでなく、認知症の方の対応でも問題に上がりやすい服薬管理のためのアイデアなどをもりこんで説明していただいたので、こちらも明日から使える知識として皆さんも学習された様子でした。

薬という「錠剤」や「細粒」というイメージですが、パッ

チタイプやゼリータイプなど、口から飲めなかったり、口に入れることを嫌がられる方にも摂取可能な形状がある薬があることも勉強でき、援助の方法も幅が広がった印象でした。

今回の学習会で、介護分野で仕事をしているといつの間にか「医学」の面からの思考が欠けやすいのだと実感しました。

もちろん利用者様に寄り添うという視点では介護分野で働く私たちの一番得意とするところなので、今回の学習を活かし、両方の視点から見ることができるようになれば、いろいろな利用者様に会っても寄り添い方の幅が広がるのではないかと思います。

第2回

「ひも解きシートを日常業務で使いこなそう」

京都福祉サービス協会 矢野 大介

今回の認知症学習会では「ひも解きシートを日常業務で使いこなそう」をテーマに学習会を行いました。

まず「ひも解きシート」についての説明を小規模多機能型居宅介護事業所きたおおじの安野さんよりわかりやすく説明していただきました。

本来の研修では3時間を費やして説明する内容を、時間の関係上15分でまとめていただきました。その後事例をもとに各グループに分かれて実際に行いました。シートに落とし込む際、内容が重複したり、また表現がわかりにくい部分もあったりと、スムーズに行かないところもありましたが、グループの中で他の方の意見を参考にしながらどうにか最後まで行えました。

今回参加した方の中には、初めて「ひも解きシート」をした方もおり、「事業所に持ち帰ってやりたい」「実際のご利用者で試してみたい」や、逆に「説明の時間が足りなかった」「もう少し説明を聞きたかった」「難しかった」などの意見もありました。

認知症のご利用者と接する際、私たちの多くは認知症の症状にスポットをあててしまうことがあると思います。そのため認知症のご利用者の行動が問題行動と捉えてしまうことになります。

今回の研修では認知症の症状ではなく、そのご利用者(人)にスポットをあてる考え方が基本となるため、認知症のご利用者の行動が問題行動ではなく、意味のある行動となり、そのご利用者の可能性に繋がっていきます。

実際に困っているのは、認知症のご利用者に接する私たちではなく、認知症のご利用者(人)であることを今回の研修で学ぶことが出来たと思います。

今後も地域の中で研修を行い、地域とともに認知症について学んでいけたらと思います。

